

WHO ファクトシート

HIV/エイズ

HIV/AIDS

2017年7月

重要な事実

- ・HIVは、世界の公衆衛生の大きな問題であり続けており、これまでに3500万人以上の命を奪ってきている。2016年には、世界で100万人がHIV関連の原因で死亡している。
 - ・2016年末には世界で、HIVとともに生きる人が約3670万人おり、2016年に新たにHIVに感染した人が180万人いる。
 - ・HIVとともに生きる人々の内、成人で54%、子どもで43%が、現在抗レトロウイルス治療（ART）を受けている。
 - ・世界のHIVと共に生きる妊婦、授乳女性のART受診率は高く76%である。
 - ・WHO アフリカ地域は最も感染者の多い地域であり、2016年現在HIVと共に生きる人が2560万人いる。世界の新規感染も3分の2は南アフリカ地域で起こっている。
 - ・HIV感染は、多くの場合、HIV抗体の存在か非存在を検出する迅速診断試験（RDTs）によって診断される。ほとんどの場合、これらの試験は試験結果を同日に提供している。即日診断と迅速な治療とケアは重要である。
 - ・キーとなる集団は、流行のタイプや地域状況にかかわらずHIVリスクの高いグループである。それは、男性と性交渉する男性、ドラッグを注射する人々、刑務所や閉鎖環境にいる人々、セックスワーカー及びその顧客、トランスジェンダーの人々などである。
- キーとなる集団は、しばしば彼らの行動に関係する法的及び社会的問題を抱え、HIVへの脆弱性を高めたり、検査や治療のプログラムへのアクセスを減らしている。

- ・2015年には、新規感染の44%がキーとなる集団とそのパートナーの間で発生している。
- ・HIV感染の治療法はない。しかし、抗レトロウイルス薬(ARV)によってウイルスをコントロールしたり感染予防を助けることができるので、HIVとともに生きる人々や実質的感染リスクを抱えている人も、健康的で生産的な人生を送ることが可能である。
- ・現在、HIVとともに生きる人々の内わずか70%の人が自分の状況を知っているにすぎないと推定される。残りの30%(750万人)の人々がHIV検査サービスにアクセスする必要がある。2016年には、世界でHIVとともに生きる人々1950万人がART治療を受けている。
- ・2000年から2016年の間に、新たなHIV感染は39%減少し、HIV関連死亡は1/3減少し、その期間にARTにより約1310万人の命が救われた。この成果は、市民社会と様々な開発パートナーに支援されたHIVに関する国家的プログラムによる大変な努力の結果である。

本件ファクトシートについては厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)でも全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい

© World Health Organization

この文章は、日本WHO協会がWHOのメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月にWHO本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含めWHOホームページでの原文をご確認ください。

HIV/AIDS ファクトシート原文は [こちら](#)